

第 3 学 年 梅 組 算 数 科 略 案

指導者 千葉誠二 長谷山香苗

1. 日 時 2月28日(水) 5校時(13:35~14:20)
2. ねらい 今年度学習した内容の復習をし、弱点の克服と定着を図る。～ 時刻と時間, 三角形と四角形, かさ・長さ・重さ ～
3. 本時の実際

時 間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
13:35	1. 課題をつかむ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">算数の弱点をなくし, 自分の力をレベルアップさせよう。</div>	○ 今回のコース学習は, ①時刻と時間コース (センターの先生・プレールーム 西側) ②三角形と四角形コース (千葉・プレールーム 東側) ③かさ・長さ・重さコース (長谷山・3梅教室) の3コースであることと, それぞれのコーナーのヒントになる物を利用することができることを確認する。		
13:37	2. 学習の進め方を確認する。	○ 次のように進めることを確認する。 ① 3コースの苦手と思う内容のシートから進める。 ② (1)コースができたなら, 同じコースの(2)コースに進んでもいいし, 他のコースの(1)コースに進んでもいいことにする。 ③ (1)コースは, できるだけ3コースとも合格するように取り組む。		プレールーム西側に機器をおき, センターと接続する。
13:40	3. 問題に取り組む。	○ 解答を準備し, 自己採点・自己評価できるようにする。 ○ コーナーには, 具体物や資料を準備しておく。 ○ つまずきが予想される児童に集中的に支援する。	○ 「時刻と時間」の問題の質問に来た子どもに, 時計や数の線などの視覚的な映像を利用しながら説明する。	
14:10	4. ふりかえる。	○ 自分が何の力はついていて, どこが弱いのかも記録しておくように声をかける。		
14:15	5. センターの先生のお話を聞く。		○ 量感を高めるために役立つお話や普段の生活で取り組んだり, 意識したりするとよいことをアドバイスする。	機器を教室に移動する。